

日本語で遊びながら勉強しましょう！

UAM日本学科2年生 マグダレーナ・クチカ

私が初めて日本語の言葉遊びについて聞いたのは、あるドラマを見ていた時のことです。主人公の一人は上田さんという男性でした。ある日、もう一人の女性の主人公が彼を探していましたが、上田さんはどこにもいませんでした。困った彼女は、突然、「あ！上だ！」と叫んで、空を指さしました。私はそのシーンに思わず笑ってしまいました。その時から、日本語の言葉遊びに、ぐっと興味を持つようになりました。

それで最近、私は気付いたのです。日本語を学ぶ人にとって、言葉遊びはとても役立つと言うことを。

例えば、「語呂合わせ」という言葉遊びの一つは、効果的な暗記の方法です。漢字にはいろいろな読み方がありますが、「語呂合わせ」をすれば、歴史や文学などの出来事がどんな年に起こったか簡単に覚えることができます。例えば、「大化の改新」は“むじこ” = 6 (む) 4 (し) 5 (こ) = です。面白くて覚えやすいでしょう？

このように年月日を覚えるのも大切ですが、それよりも、私にとって、日本人のように考えるのは最も難しいです。しかし、それを言葉遊びにしてみたら、意外と楽になりました。皆さんは多分「駄洒落」という言葉遊びを知っていますね。似ている様々な単語を使って、「申し訳ない、孟子は毛がない！」というような面白い文を作れます。

では皆さん、次の謎々を解くことができるでしょうか？ 病院で働いている看護婦が、友達に「どこで仕事してるの？」と聞きました。友達は「あなたよりずっと大きな職場で働いてるわ」と答えました。ポーランド人にとってその謎々は難しいでしょう？ しかし、答えは簡単です。正解は「美容院」です。「病院」と似ている言葉ですが、「病院」と違って、その単語の中に大きな[よ]があるからです。このように、いろいろな日本語の謎々を解こうとする時、頭をしぼって日本語で考えなければならないので、もっと日本人のように考えられるようになると思います。最後に、日本語の勉強は漢字学習のように、たくさん難しいところがありますが、楽しいところも多いです。そんな勉強が楽になる秘訣は、何か自分で面白い方法を見つけて、それを活用して勉強することです。私にとって、それは言葉遊びです。ですから皆さん、言葉遊びを楽しみながら、勉強しましょう！